

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号： 19-050

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

- ・ 研究課題名： 中高齢者原発性高悪性度悪性骨腫瘍の治療成績に対する研究 骨軟部肉腫治療研究会 (JMOG) 多施設共同研究
- ・ 目的： 中高齢者原発性高悪性度悪性骨腫瘍の補助化学療法および手術単独の治療成績に関して、より詳細な、信頼性の高い疫学データを得ること
- ・ 研究期間： 承認日～2027年3月31日
- ・ 研究対象： 2008年7月1日～2027年3月31日

症例登録は、オンライン（EDCシステム）により入力されます。EDCシステムの利用に当たっては、岐阜大学医学部附属病院先端医療・臨床研究推進センター・データマネジメント部門の運用管理支援を受けます。

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

：

1) ベースライン調査として、以下の項目を調査します。

年齢、性別、発生部位、組織型、組織学的悪性度、腫瘍サイズ、スキップ転移、AJCC stage、切迫骨折・病的骨折の有無、予定される治療方針（手術単独、もしくは補助化学療法および手術（その場合はレジメンおよび予定コース数）、補助放射線治療の有無）、主要臓器機能

2) 予定治療終了時観察項目として、以下の項目を調査します。

手術日、術式、追加手術、病的骨折の有無、実際に施行した治療（化学療法のタイミング、コース数、レジメン、放射線治療のタイミング、照射量）、組織型、組織学的治療効果、切除縁

3) 追跡調査項目として、年に1回、以下の項目を調査する。

患肢の状態、局所再発の有無および発生日、遠隔転移の有無および発生日、最終生存観察日、死亡日、転帰、後治療、二次がんの有無

③ 利用する者の範囲

：本研究の研究の研究者は、国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科の川井章先生です。研究事務局は、岐阜大学医学部整形外科の永野昭仁先生です。

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

： 当院での研究責任者は、骨軟部組織腫瘍科・整形外科の今西淳悟です。研究全体の研究代表者は、国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科の川井章先生です。研究事務局は、岐阜大学医学部整形外科の永野昭仁先生です。